

Close Up

まちの 決算

まちの家計簿を見てみよう 平成27年度 決算報告

平成28年9月議会で認定された平成27年度のまちの決算をお知らせします。一般会計の歳入総額は99億8,955万円、歳出総額は94億8,281万円でそれぞれ前年度比は、歳入6.9%の増、歳出6.3%の増という結果で近年増加傾向にあります。各会計の主な決算額は、次ページでお知らせします。まずは、主要事業について見ていきます。

問合せ▶役場総務課 ☎47-5004

01 このような事業がありました まちの事業の一部を紹介

何がよかった？
まちの取り組みについて
インタビュー
今後はどうなっていきたい？

民生費

出産祝金事業 1,565万円

子ども・子育て支援事業 2,856万円



教育費

英語指導助手設置事業 2,117万円

中野小学校水泳プール改築事業 2億862万円



広報おうら6月号で紹介

北保育園改築工事 3億1,198万円



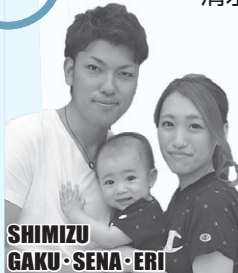
広報おうら4月号で紹介

スポーツ・レクリエーション広場
改修等事業(人工芝生化) 1億8,366万円



Interview

昨年12月に第1子が生まれた
清水 岳さん・星那くん・絵梨さん 親子
(天王元宿・5区)



兄の第1子のときは、出産祝金はもらえなかったと聞いていました。おもちゃ、おむつなど子育てには思っていた以上にお金がかかるので、この制度はありがたいですね。これからも、子育て制度の充実を願います。

SHIMIZU
GAKU・SENA・ERI

Interview

英語の授業が大好き。長柄小学校6年生
松森 蘭依さん (坪谷・22区)



rock
Spring

4年生のときはあまり好きではなかった英語。けれど、5年生のときからはALTの先生とゲームをしながら英語を学ぶようになって、今は英語が大好きになりました。サイコロを使った発音ゲームは、すごく楽しいです。

MATSUMORI
RAI

写真で見る、主な事業

消防費

災害対策事業

1,344万円



総務費

防犯灯設置事業

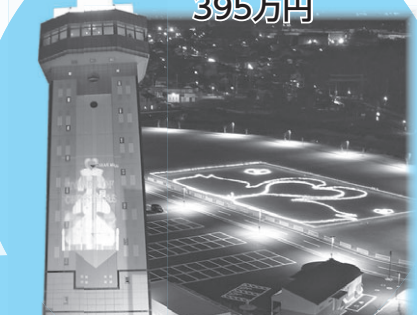
1,249万円



商工費 観光事業

(イルミネーション事業など)

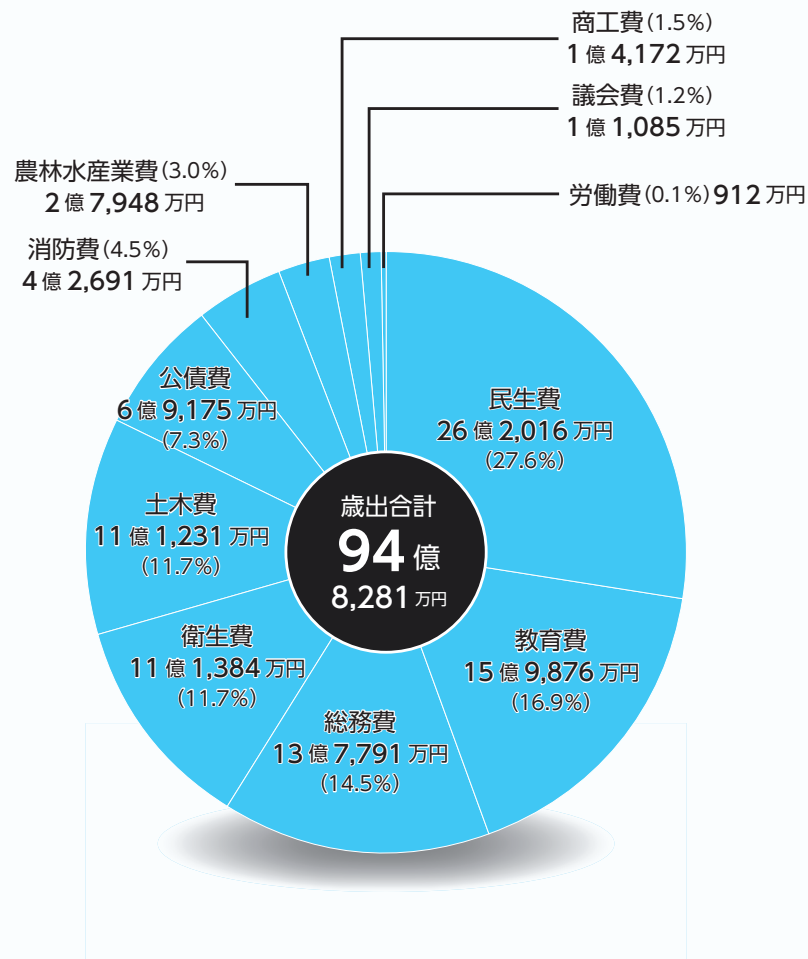
395万円



03 お金の使い道は？ 一般会計の歳出

民生費の増加が続く

歳出総額は、前年度比5億6,040万円、6.3%増の94億8,281万円でした。増加した主な費目は、民生費、土木費。事業としては、社会福祉事業や児童福祉、道路建設・都市整備事業などです。民生費は、前年度比+3億3,876万円の歳出となっており、歳出の中で最も多いです。これは全体の4分の1を超えており、まちが子育てや高齢者、障がい者へのサポートなど福祉の事業に力を入れていることがわかります。土木費については、前年度比+2億9,536万円の歳出となっており、前年度比136.2%と増加率が最も高くなりました。



まちの預金 基金

●基金合計残高
45億 6,109万円

財政調整基金 21億 820万円
減債基金 5億 2,183万円
その他基金 19億 3,106万円

まちの借金 町債

●町債合計残高
102億 1,093万円

●臨時財政対策債
全額を交付税の計算に算入することで、実質的に国が負担する地方債 ※うち臨時財政対策債...44億 9,976万円 (平成27年度末残高)

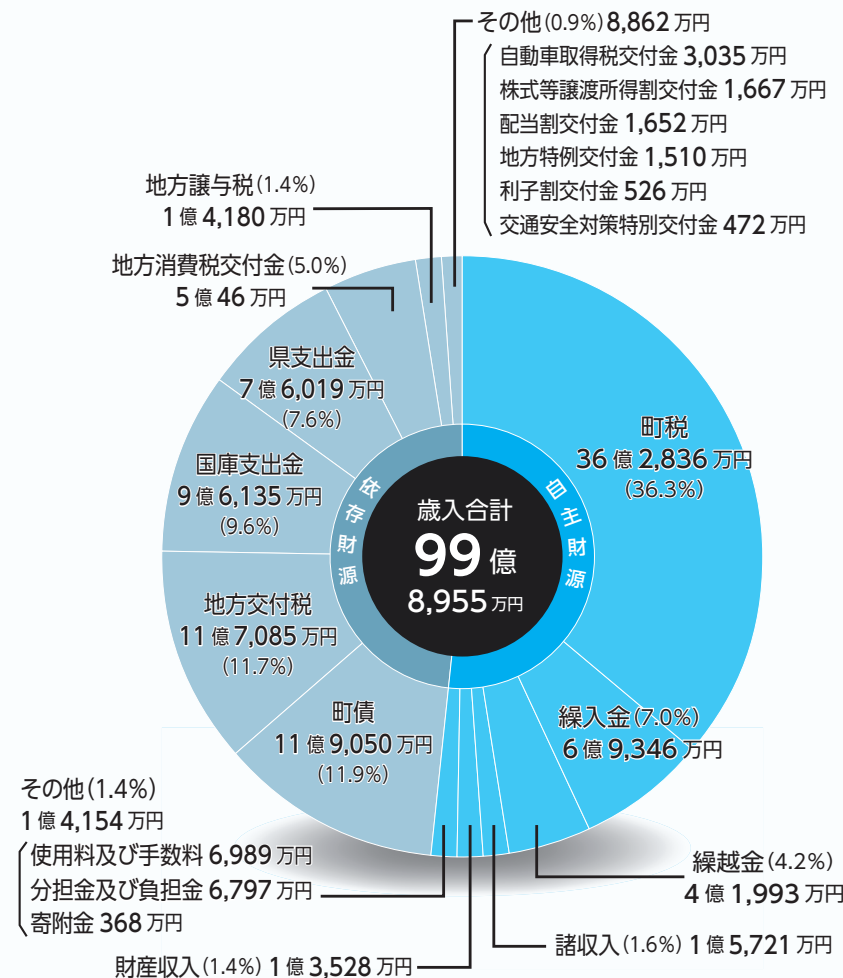
用語解説 公債費

町債(まちの借金)の返済に充てられるお金です。金額は毎年決められた額を予算に計上して、計画的に返済が行われています。

02 まちの収入は増えたの？ 一般会計の歳入

教育施設の充実で町債が増加

前年度に比べて、一般会計の歳入総額は6億4,721万円増加。主な要因は、北保育園改築工事や中野小学校水泳プール改築工事、道路建設などの借入による町債(前年度比+3億410万円)、消費税増税に伴う地方消費税交付金の増加分(前年度比+2億241万円)、中野小学校プールや道路建設、都市整備などの補助金の国庫支出金(前年度比+1億9,262万円)、基金の取り崩しによる繰入金(前年度比+1億3,830万円)、また給食センター跡地売却などの財産収入(前年度比+1億3,475万円)の増加によるものです。



自主財源 51.8% 51億 7,578万円

自主財源とは・・・
まちが自ら確保することができるお金

依存財源 48.2% 48億 1,377万円

依存財源とは・・・
国や県などから割り当てられたり交付されたりするお金

用語解説 繰入金

町の基金から繰り入れるお金です。預金を下ろすようなものです。基金は特定の目的のために積み立て、特定の目的のために使います。

05 その他の会計をしてみよう 特別会計などの決算報告

まちの会計には一般会計のほか特別会計と企業会計があります。一般会計は基本・全体的な経費を管理する会計。その他の会計は特定の事業のために独立して歳入・歳出を管理する会計です。

国民健康保険特別会計
歳入 39億 481万円
歳出 36億 7,466万円
差引額 2億 3,015万円

介護保険特別会計
歳入 18億 4,514万円
歳出 17億 9,094万円
差引額 5,420万円

学校給食事業特別会計
歳入 2億 4,340万円
歳出 2億 3,577万円
差引額 763万円

後期高齢者医療特別会計
歳入 2億 2,402万円
歳出 2億 2,271万円
差引額 131万円

下水道事業特別会計
歳入 3億 1,604万円
歳出 2億 8,781万円
差引額 2,823万円

水道事業会計
歳入 5億 5,285万円
歳出 5億 194万円
差引額 5,091万円

04 財政運営の健全度を見てみよう 健全化判断比率・資金不足率

まちが健全な財政運営かどうか、国が定めた指標で確認できます。どの項目も算定されない、もしくは低い数値という結果で、邑楽町は健全であることが確認できます。

健全化判断比率	邑楽町	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率 財政規模に対して、一般会計などが出した赤字額の割合	-	14.62%	20.00%
連結実質赤字比率 財政規模に対して、町の持っている全会計が出した赤字額の割合	-	19.62%	30.00%
実質公債費比率 財政規模に対しての借入金(地方債)の返済額(公債費)の割合	5.5%	25.0%	35.0%
将来負担比率 一般会計などが将来負担しなくてはならない負債額の割合	-	350.0%	

※赤字が生じない場合は「-」で表示しています。

資金不足比率	邑楽町	経営健全化基準	備考
資金不足比率 公営企業会計(水道事業など)の営業収益における資金の不足額の割合	-	20.0%	水道事業会計と下水道事業特別会計での算定

